

第六回支部聯合会は、本報の指導を受け、本報を冠して、  
感にのぼるの演説 (単議部報を参照)

分組合同盟大会について (十月第一日曜より三日間) 神戸市出陣の長より報告を募集  
分組東合同第五回大会に關する件 八月十八日と決す

「第十一回」 七月二十日

分組北会館の他準備について

備考 執行委員中、山中福松氏は、川口金屬労働組合獨立ににつき、評議

難波虎一氏は、関東製材従業員会の常任として正式に決定し、評議

同の常務につかす

那須鉄之助氏、日本運輸労働組合獨立につき、本会合同の常務に

かす

会計検査委員 阿部氏は所属支部が一時休会するたより辭任す

### 政治部報告

昭和三年七月四日第一回執行委員会の結果大会決定に關する (治安維持法改正絶対反対決議) を公にして内務大臣院に提出す

#### 第一回政党内閣問題

日本労働党内に無産政党内閣問題が起り、組合同盟としての態度を決定す。ことに、本組合としての態度を九月七日第三回理事會は左の如く決定す、  
「日労働の合同問題の方針に就ては、無産大衆党と同等の合同は反対す、日本労働党は現在の政勢に於ては獨自の方針を取るを可とす」  
当時日労働中央委員会は「左翼結成、右翼結成と共に可とす、現状維持を避る」ことにおつたが、本組合の決議と同一であつた

#### 第二回政党内閣問題

無産政党内閣問題は、日本農民党が日労働に合同申込を未了したる旨を以つて新たに議題された。無産大衆党も合同申込を日労働に付した。かくて、無産大衆党の内容に對しての見解、即ち日労働の合同方針につき日労働と合同問題との間に意見が相違したるたりたり。